

「2018年中国・浙江大学スプリングスクール 参加報告書」

京都大学 法学部 新3回生(留学時2回生) 井戸田 耕二

このスプリングスクールに参加して(①学習成果について)

このスクールについて初めて知ったのは、普段中国語Ⅱの授業でお世話になっていた先生から、案内のプリントをいただいたことによってでした。それまで留学の経験はおろか、考えたこともなく、漠然と留学については敷居の高いものだと感じていました。しかし、説明会に参加してみて、このスクールが春休みを利用した短期のもので、中国の大学で中国語を学べるという自分の興味にぴったり合っていたため、関心を持ち、積極的に検討したみたいと思いました。その後、先生方や友人たちのサポートを受けながら準備を進める過程で、不安も徐々になくなっていったという経緯です。

浙江大学で、中国語で中国語を学ぶ授業を受講したことは、想像以上の学習効果がありました。英英辞典を使って英語を読むと英語がより深く理解できたように思えるのと似たような感覚でした。わずか二週間の期間でしたが、主にリスニングやスピーキングの実力は大きく向上したように思います。

浙江大学での経験は、学業以外にも大きな意義がありました。まず、一緒に参加した友人たちとの交流は私にとって大変楽しく、貴重なものでありました。私は社会人経験を経て本学に入学しているため、年齢の差などの理由によりみんなに溶け込めるか内心大きな不安がありました。彼らのおかげで、それはまったくの杞憂に終わりました。そして、現地で迎えてくださった先生方、浙江大学学生の皆さんとの交流は、忘れることのできない思い出となりました。留学が終わってお互いに距離は離れてしまいましたが、今後とも、ネットなどを通じて交流が続くことを期待しています。

現地での経験について(②海外での経験について)

二週間の短いスクールでしたが、現地では、他国から半年単位で学びに来ている留学生たちとまったく同じような学生生活を送ることができました。学生寮での生活、食事、買い物、観光、どれも新しい経験ばかりでした。深く現地での生活に入り込めたことによって、単なる観光旅行では味わうことができないような、様々な体験をすることができました。確かに、不慣れなため苦労したこともありましたが、新しい経験はそれを困ったことと感じさせないほど刺激的な興味深いものでした。

プログラムの内容について(③プログラム内容について)

今回のスクールでは、主に、午前中にはレベル別に配属されたクラスで中国語の授業を受け、午後は浙江大学学生の皆さんと一緒に出かけたり食事をしたりという毎日でした。授業は、精読、読解、リスニング、スピーキングに分かれていて、どの先生もこちらの理解の度合いを確かめながら懇切丁寧に教えてくださいました。クラスは中国語の学習経験によって11段階に分かれているため、勉強の進んだ人からまったくの初学者まで、実力に応じて効果的な指導が受けられます。

その日の授業が終わった後は、浙江大学学生ボランティアの皆さんが、毎日、工夫を凝らした提案をしてくださって、とても楽しく過ごすことができました。西湖を散歩したり、博物館に行ったり、演劇を見に行ったりと、毎日が盛りだくさんでした。浙江大学農学部学生の皆さんと、お互いの文化をプレゼンテーション形式で紹介し合う交流会も行いました。現地の会社訪問に行く機会にも恵まれました。予定の空いている時間帯には、友人たちと計画して、自分たちだけで観光や遊びにも出かけました。これらはすべて、中国文化や現地での生活を深く知ることに繋がったと思います。

今後への展望について(④進路への影響について)

帰国した今、あらためて、本当に素晴らしい二週間であったと思返しています。こういった機会は、おそらく、大学を卒業するともう二度と得られないかもしれません。私は2回生なので、またチャンスがあれば、今後の学生生活でもう一度だけでも、このような短期留学に参加できればと熱望しています。また、同時に、この素晴らしさを多くの人たちに知って欲しいと願うようにもなりました。ひとまず、今後はこのスクールについて、多くの友人たちに勧める活動ができればと思っています。

最後になりましたが、支えてくださった先生方、友人たちに深く感謝し、今回のスクールの報告とさせていただきます。本当に有難うございました。